

大学連携事業による ICT を活用した共通基盤システムの運用

Operation of a Common Infrastructure System that the Use of ICT by the University Cooperation Projects

石田雪也 (Yukiya Ishida)

Tel & Fax: 0123-27-6119 E-mail: y-kawani@photon.chitose.ac.jp

Eight of the university, including the Chitose Institute of Science and Technology is working to "promote proactive learning that utilize a common infrastructure system for the academic training," University cooperation projects from 2012. In this project, as an educational tool, we have developed placement tests and teaching materials, the portfolio. These are in place in the cloud, faculty and students are using. The user of the placement tests is increasing year by year, and has a total of 20,000 people.

千歳科学技術大学をはじめ、山梨大学、愛媛大学、佐賀大学、北星学園大学、創価大学、愛知大学、桜の聖母短期大学の 8 大学は、大学間連携事業「学士力養成のための共通基盤システムを活用した主体的学びの促進」を平成 24 年度から取り組んでいる。この事業では、主体的な学びを促進するための教育ツールとして、プレイスメントテスト（1 年次対象）・到達度テスト（2 年次以降対象）並びに e ラーニング教材を参加 8 大学の教職員で連携を行いながら開発している。e ラーニング教材だけでなく、各テスト及びその結果と学修アドバイスを示した個票についても、クラウド上に配置した Web システム上から実施・作成が可能となっている。

また各大学では、プレイスメントテストと到達度テスト受験後に、学生自身にテスト結果やキャリアを意識させつつ e ラーニング学習の内容を選定させ、主体的な学修を行わせている。千歳科学技術大学でも、初年次系科目やキャリア系科目において各テストを実施し、その結果を教員から返却し、面談等の資料として活用している。また、受験後 e ラーニングシステムを活用し、学生自身に学習内容を選定させ、学習を行わせている。

実績として、表 1 に示すようにプレイスメントテストにおいては、今年度のべ約 2 万人が受験しており、到達度テストについても、約 8,000 名が受験している。今後もテスト、個票の改良や学修教材の開発を行いつつ、各大学での事例を共有しながら取り組みを続けていく予定である。

Table.1 Curriculum of career education

| 科目 | 平成 25 年 | 平成 26 年 | 平成 27 年 | 平成 28 年 (実績+予定) |
|-----|---------|---------|---------|--------------------|
| 日本語 | 1,989 | 3,035 | 4,163 | 4,900 |
| 数学 | 2,393 | 2,456 | 4,178 | 4,532 |
| 英語 | 1,917 | 2,137 | 2,741 | 3,976 |
| 情報 | 2,615 | 3,190 | 2,553 | 3,060 |
| 学修観 | 2,395 | 3,889 | 4,191 | 3,841 |
| 合計 | 11,309 | 14,707 | 17,826 | 20,309 |